

第4次船橋市男女共同参画計画の指標の推移

資料5-1

課題Ⅰ 男女が共に活躍できる環境づくり

指標		基準値 (R3.4.1)	R7年度 目標値	R4年度 (R4.4.1)	R5年度 (R5.4.1)	R6年度 (R6.4.1)	R7年度 (R7.4.1)
①	市職場における管理監督職 (課長補佐級以上)への女性 職員の登用率	20.4%	22.0% ※	21.0%	22.8%	23.8%	26.6%

※目標値の年度は、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に合わせる

指標		基準値 (R3.4.1)	R7年度 目標値	R4年度 (R4.4.1)	R5年度 (R5.4.1)	R6年度 (R6.4.1)	R7年度 (R7.4.1)
②	市の審議会等の女性委員の 割合	29.4%	40.0%	31.6%	30.7%	30.8%	30.0%

指標		基準値 (R2年度市民ア ンケート結果)	R7年度 目標値	R7年度 (R7年度市民アンケー ト結果)
③	職場で男女平等と感じる人の 割合	25.5%	30.0%	31.9%
④	ワーク・ライフ・バランスという 言葉を見たり聞いたりしたこと がある人の割合	55.8%	75.0%	76.8% ※

※R7年度アンケート結果は、「言葉も意味も知っている」人の割合

指標		基準値 (R2年度)	R7年度 目標値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
⑤	市職場における男性職員の 育児休業取得率	38.4%	100.0% ※	54.2%	51.4%	65.9%	89.3%

※目標値の年度は、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に合わせる

課題Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

指標		基準値 (R2年度市民ア ンケート結果)	R7年度 目標値	R7年度 (R7年度市民アンケー ト結果)
⑥	LGBT(性的少数者)という言 葉も意味も知っている人の割 合	82.1%	90.0%	79.2%

課題Ⅲ 配偶者等からの暴力の根絶

指標		基準値 (R2年度市民アンケート結果)	R7年度 目標値	R7年度 (R7年度市民アンケート結果)
⑦ DVとなり得る行為と知っている人の割合				
身体的 暴行	平手でうつ、足でける、髪を引っぱる、腕をねじる、凶器を体につきつける、引きずりまわす、物を投げつける	95.9%	100.0%	96.1%
心理的 攻撃	大声でどなる、人前でバカにしたり命令口調でものを言う、実家や友人との付き合いを制限、電話やメールを細かくチェック、子どもに危害を加えようと言っておどす	90.5%	100.0%	94.3%
経済的 圧迫	生活費を渡さない、外で働くことを認めない、仕事を辞めさせたりする	84.4%	100.0%	90.0%
性的 強要	嫌がっているのに性行為を強要、中絶を強要、避妊に協力しない	89.3%	100.0%	94.9%
⑧	市役所でDVの相談ができることを知っている人の割合	63.0%	75.0%	66.8%

課題Ⅳ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

指標		基準値 (R3.4.1)	R7年度 目標値	R4年度 (R4.4.1)	R5年度 (R5.4.1)	R6年度 (R6.4.1)	R7年度 (R7.4.1)
⑨	保育所の待機児童数	12人	0人	28人	9人	24人	34人

指標		基準値 (R2年度市民アンケート結果)	R7年度 目標値	R7年度 (R7年度市民アンケート結果)
⑩	社会全体で男女平等と感じる人の割合	18.7%	30.0%	22.0%
⑪	「男は仕事、女は家庭」という考え方に、「そう思わない(どちらかといえばそう思わないを含む)」人の割合	70.6%	75.0%	72.9%